

こころとからだに、
おいしいものを。



2019年1月15日

各位

会社名 ダイドグループホールディングス株式会社
代表者の役職氏名 代表取締役社長 高松 富也
(コード番号：2590 東証第1部)
問い合わせ先 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長
長谷川 直和
電話番号 06-7166-0077

「グループミッション 2030」「中期経営計画 2021」策定に関するお知らせ

ダイドグループホールディングス株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：高松富也）は、2030年の当社グループのありたい姿を示す「グループミッション 2030」を定め、その実現に向けた2019年度からの3カ年の行動計画「中期経営計画 2021」を策定しましたので、お知らせします。

記

I. 策定の背景

1. 中期経営計画「Challenge the Next Stage」（2014年度～2018年度）の総括

当社グループは、コアビジネスである国内飲料事業を取り巻く環境が大きく変化する中、グループ全従業員が一丸となって将来の持続的成長の実現をめざすべく、2014年に新たな「グループ理念・グループビジョン・グループスローガン」を制定し、チャレンジする企業風土の醸成とコーポレートガバナンスの継続的改善に努めてまいりました。

また、2018年度を最終年度とする5カ年の中期経営計画「Challenge the Next Stage」をスタートさせ、「既存事業成長へのチャレンジ」「商品力強化へのチャレンジ」「海外展開へのチャレンジ」「新たな事業基盤確立へのチャレンジ」の4つのテーマに取り組むとともに、2017年1月には、持株会社体制へ移行するなど、様々な変革を推進してまいりました。

これまで5年間の取り組みにより、自販機チャネルにかかる固定費構造の改革やトルコ・マレーシアなどのイスラム圏における戦略拠点の獲得など、将来の成長に向けた土台作りに一定の成果がありました。

一方、外部環境の変化は想定を超えるスピードで進展し、成長性・収益性・効率性の改善には、課題を残す結果となりました。

2. 中長期的な事業環境の変化と社会的課題への対応

現在、わが国では出生率の低下と平均寿命の伸びを背景として、少子化と高齢化が同時進行し、生産年齢人口の減少による労働力不足が懸念される一方で、健康長寿化社会に貢献するヘルスケア関連市場は、大きな成長が期待されております。この健康志向のトレンドは、グローバルでも、さらに大きな潮流になると思われまます。

また、AIをはじめとする革新的なテクノロジーの進化は、人の働き方やビジネスのあり方を大きく変えていきます。多くの企業が変革を迫られる中で、次代に向けて新たな価値を生み出すためには、人と人とのつながりや、人の多様な価値観や能力を活かす創造的な仕事の重要性が、ますます高まってくると考えられます。

一方、気候変動と資源不足が経済に与える影響は、より深刻なものとなることから、企業は、環境や社会の変化による潜在的なリスクに備えるとともに、事業を通じて社会的課題の解決を図り、豊かで持続可能な社会の実現に貢献することが求められています。

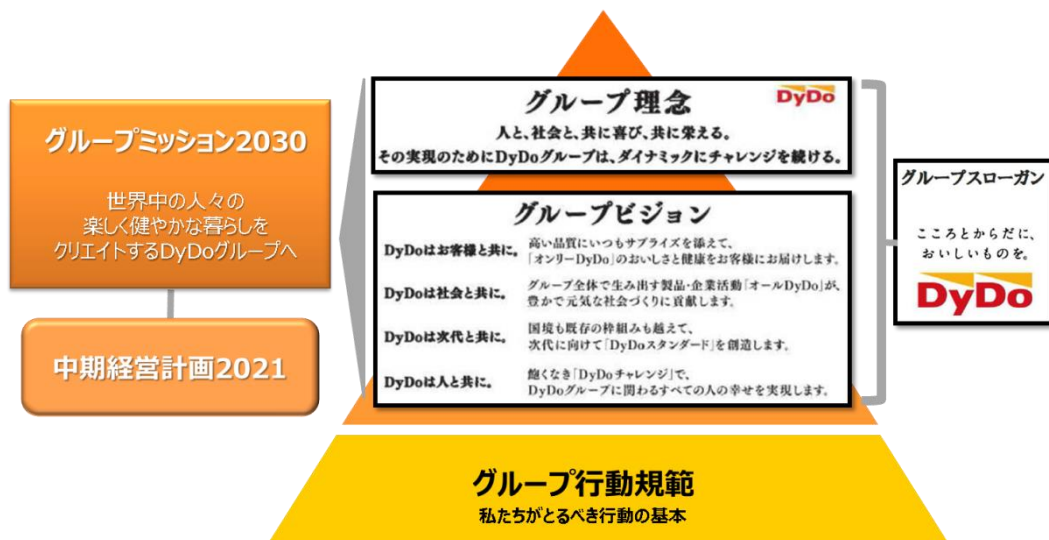
こうした中長期的な事業環境の変化をチャンスと捉え、リスクを事業機会に変えることによって、お客様や社会に価値を提供し続けていくためには、従来の強みを活かしながら、非連続のイノベーションに踏み出し、不確実性の時代における競争優位性の高いビジネスモデルへと変貌していく必要があると考えております。

II. 「グループミッション 2030」の概要

当社グループでは、このような中長期的な事業環境の変化が、ビジネスモデルに重要な影響を及ぼすリスクと事業機会を分析し、現中期経営計画「Challenge the Next Stage」における課題認識をふまえて、「グループミッション 2030」を策定しました。

グループ理念・グループビジョンの実現のために2030年までに成し遂げるべきミッションとして、当社グループのありたい姿・方向性を4つのテーマごとに示し、その達成に向けたロードマップを描いております。

具体的には、2030年までの期間を「基盤強化・投資ステージ」「成長ステージ」「飛躍ステージ」の3つに区分し、それぞれのステージに応じた事業戦略を推進することにより、競争優位性の高いビジネスモデルを構築し、成長性・収益性・効率性の高い力強い事業ポートフォリオを形成していきます。



「グループミッション 2030」

世界中の人々の楽しく健やかな暮らしを
クリエイトするDyDoグループへ

DyDoはお客様と共に。



お客様の健康をつくります

おいしさへの飽くなき探求心のもと、
世界中のお客様の健康や生活の質向上に
貢献する商品・サービスをお届けします。

DyDoは社会と共に。



社会変革をリードします

持続可能な社会のために、
常識に捉われず、新たな視点から
社会変革を自らリードします。

DyDoは次代と共に。



次代に向けて新たな価値をつくります

革新的なテクノロジーを活用し、
すべてのステークホルダーに
ワクワクや驚きといった体験を提供します。

DyDoは人と共に。



人と人のつながりをつくります

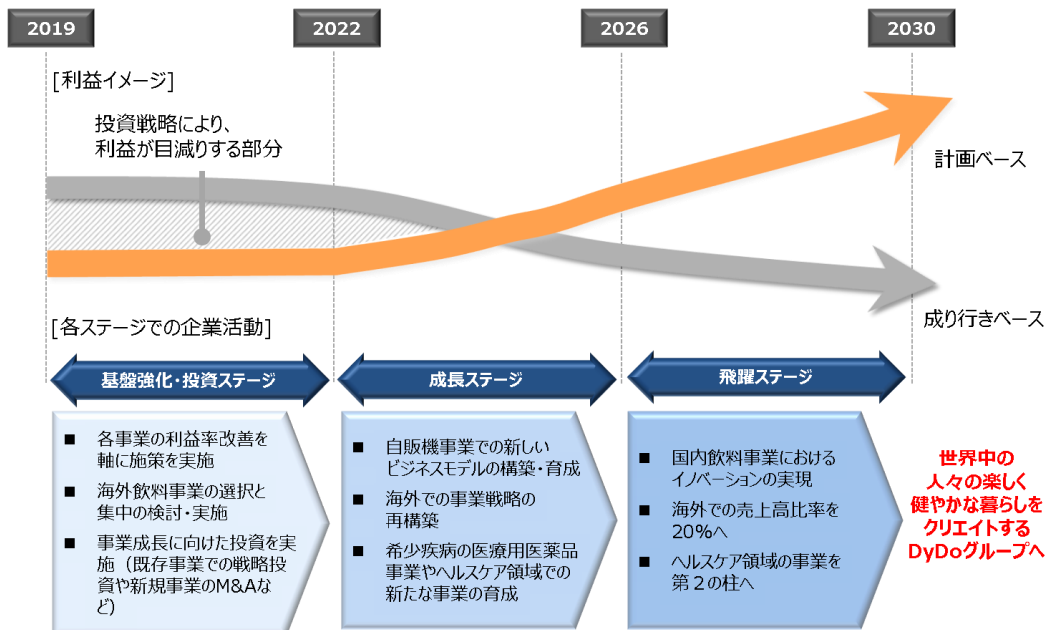
グループ内外と柔軟に連携し、
多様な価値観や能力を尊重しながら
新たな共存共栄を推進します。

1. 基本方針

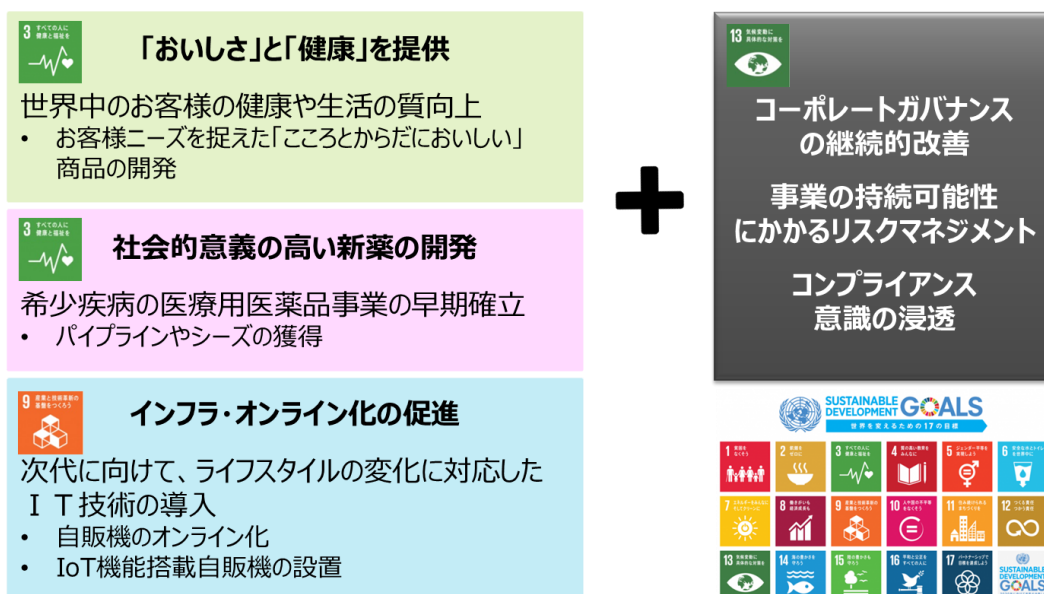
ー成長性・収益性・効率性の高い事業ポートフォリオの形成ー



2. ロードマップ



3. 事業を通じた社会的課題の解決 –ESG 課題への取り組み–



Ⅲ. 「中期経営計画 2021」（2019 年度～2021 年度）

1. 「中期経営計画 2021」の位置付け

「グループミッション 2030」に定める当社グループのありたい姿の実現に向けた、「基盤強化・投資ステージ」と位置付け、以下の基本方針のもとキャッシュフローの最大化と成長戦略の推進に取り組んでまいります。

なお、「中期経営計画 2021」では、3年間の固定的な定量目標は設定せず、主要指標のガイドラインを示し、事業環境の変化と重点戦略・投資戦略の進捗に応じた単年度目標を每期設定する方針としました。

2. 「中期経営計画 2021」基本方針

● 収益改善に軸足を置き、筋肉質な経営へ

- ・ 各事業において、収益改善を軸とする施策により、キャッシュフローの最大化を図る
- ・ 「おいしさ」と「健康」を追求した商品やサービスなどの拡大

● 戦略的経営に向けた事業継続の判断

- ・ 海外飲料事業における戦略拠点の選択と集中

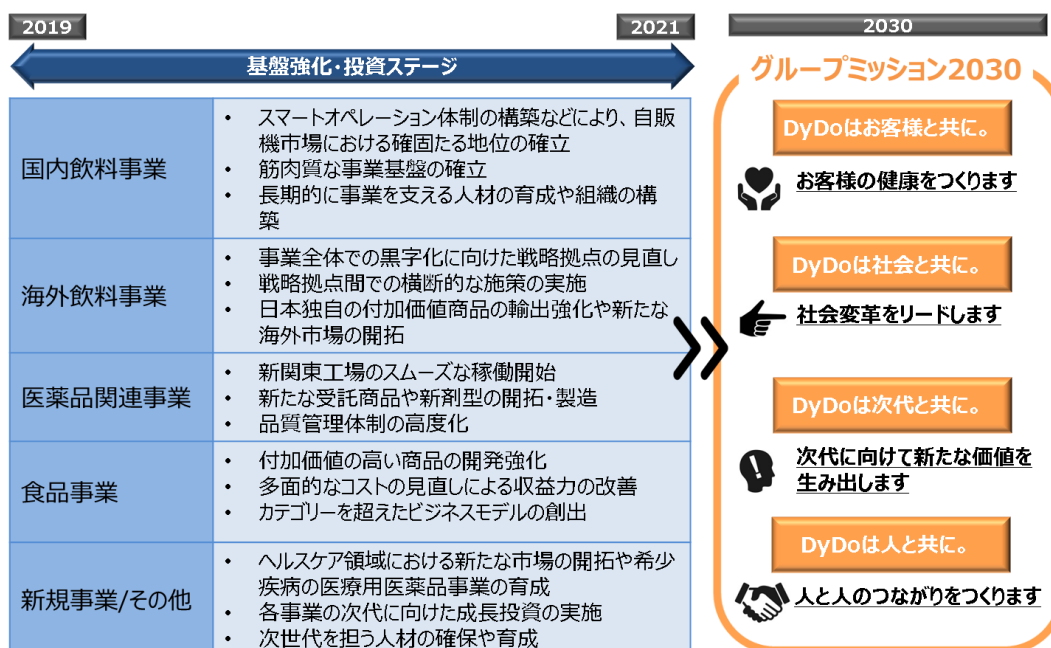
● グループミッション2030の実現に向けた成長戦略

- ・ 各事業の成長やヘルスケア領域における新たな事業の創出に向けた投資戦略の実施
- ・ DyDoグループの持続的成長をリードする人財戦略の実施

3. 「中期経営計画 2021」 主要指標のガイドライン

	ガイドライン	
売上高	<ul style="list-style-type: none"> 既存事業のオーガニックな成長 + 新規M&A 	
営業利益率	<ul style="list-style-type: none"> 既存事業の営業利益率（3%） - 投資戦略コスト + 新規M&A 海外飲料事業の黒字化 	
キャッシュフロー（CF）	<ul style="list-style-type: none"> 既存事業から創出される営業CF 既存事業にかかる通常の設備投資 	400億円以上 280億円程度
投資戦略	<ul style="list-style-type: none"> 既存事業への成長投資 ヘルスケア領域における新規M&A投資 希少疾病の医療用医薬品事業の立ち上げ 	120億円程度 300億円程度 30億円程度
株主還元	<ul style="list-style-type: none"> 安定的な配当による株主還元の実現 	

4. 重点戦略・投資戦略



[投資原資]

360億円程度
B/Sにある余剰資金
120億円程度
各事業から創出される 3年間の累計 キャッシュフロー

[投資方針等]

[各事業への成長投資]	120億円
<ul style="list-style-type: none"> 国内飲料事業における自販機IoT化のさらなる促進や飲料周辺ビジネス創出への投資 大同薬品新工場建設・パウチライン新設 	60億円 60億円
[新たな事業への投資]	330億円
<ul style="list-style-type: none"> ヘルスケア領域におけるM&A投資 希少疾病の医療用医薬事業の立ち上げへの投資 	300億円 30億円
[その他]	30億円
<ul style="list-style-type: none"> 安定配当による株主還元等 	30億円

5. 人財戦略

グループミッション2030の達成にむけたマネジメント体制の強化

人的資本の確保

- HD機能の強化、新規事業を推進するための即戦力キャリア採用
- 将来を見据えた新卒採用の検討



人材育成

- 次世代幹部候補生の育成
- 海外人材の育成
- スペシャリストの育成



人材配置・異動

- グループ間での異動による経営資源の最適な配置
- 外部企業への出向による新たなノウハウの蓄積



IV. グループ共通の「行動規範」の制定

「グループミッション 2030」の実現に向けて、グループ共通の「行動規範」を新たに制定しました。

グループ共通の価値観と高い倫理観のもと、グループの全従業員が一丸となって、持続的成長の実現と中長期的な企業価値向上にチャレンジしていきます。

グループ行動規範：

DyDoはお客様と共に。

- 味と品質へのこだわりを貫き、安全で安心な商品・サービスを提供します。
- お客様第一で行動し、お申し出には真摯に対応します。
- お客様に驚きと喜びを提供するため、創意工夫を凝らします。

DyDoは社会と共に。

- 共に働く仲間やステークホルダーと活発なコミュニケーションをとります。
- 持続可能な成長のため、時代や環境の変化に柔軟な姿勢をもって対応します。
- 地域社会への感謝を忘れず、社会貢献活動に積極的に取り組みます。
- 環境負荷の低減に努め、限りある資源を有効に活用します。
- 公正性と透明性の確保のため、ステークホルダーへ適時適切に情報を開示します。
- 個人情報を含む機密情報や会社の財産を適切かつ大切に扱います。
- 関連法令や社会規範を守り、モラルをもって行動します。
- 反社会的勢力とは関係をもたず、腐敗防止に取り組みます。

DyDoは次代と共に。

- 個人の「あたりまえ」とらわれず、常に相手を敬い、個人や多様な価値観を尊重します。
- 現状に満足せず、目の前のできることからより良くする方法を考えます。
- 遊び心をもって働くことで、斬新な発想から新たな価値を生み出します。
- 世の中の変化の兆しを敏感に察知し、率先して変革を行います。

DyDoは人と共に。

- 良い仕事をするために、自らが心身ともに健やかであるように努めます。
- チームで一致団結し、一人ひとりもてる力を発揮します。
- 仲間のチャレンジの成功と共に喜び、失敗したチャレンジであつても称えます。
- 誇りと責任をもって、すべての人に胸を張れる行動をとります。

以上